

解決したい課題（妊産婦）

①孤立・孤独

②社会資源・サービス利用不足

③自分自身の健康についての意識不足

④コロナ禍におけるメンタルヘルスの悪化

⑤妊産婦の体力不足

高石市での社会的処方事業の成果（R3年度）

医療圏域が同じ和泉市・泉大津市の3市連携による社会的処方システムの拡大(R4年度)

地域資源としての民間活用

大阪府内及び全国展開のための運営ノウハウの集積（三井不動産・TWR等）

大阪府保険者協議会による保険者やかかりつけ医を対象に横展開

社会的処方ガイド第2回シンポジウム開催

【プロジェクトの特徴】

1

居住自治体の枠組み・地理的障壁によるつながりの切れ目をなくす

・市外産科利用の高石市在住妊産婦にアプローチ

・連携自治体妊産婦のオンライン教室参加

2

ハイリスクの母親に限定しない、低/中程度リスク者を含めた予防的ポピュレーションアプローチ



高石市運営の妊産婦のための運動＋相談一体型教室

・オンライン・対面を組み合わせ実施
・和泉市と泉大津市の妊産婦も参加可能

200人以上の参加がKPI



システムの検証【筑波大学】

社会的処方システムのモニタリング
妊産婦へのアプローチ法、アクターへの質的調査など

妊産婦への社会的処方のインパクト評価

①妊産婦の孤立・孤独の解消

②妊産婦の社会資源の利用・専門職への相談状況

③セルフケアの意識・行動の醸成

④メンタルヘルスの向上

⑤妊娠に伴う生活習慣病予防、体力向上、不定愁訴の軽減